

補助制度を活用して「地震」に備えよう！

大石田町住宅リフォーム支援事業補助金のご案内

■減災対策（令和6年度新規事業）

～大地震の家屋倒壊から命を守る緊急対策～

【減災対策工事費用の80%、最大30万円を補助】

大石田町では住宅の安全性向上を目的とした**防災ベッド**、**耐震シェルター**の導入や、**居室部分の補強**など減災対策を行う住宅改修に対し、補助を行っています。

補助金を利用して「命を守る」取組みを進めてみませんか？



「防災ベッド」とは

ベッド上部に鉄骨などのフレームを設置し、安全な空間を確保します。
参考本体価格45万円



「耐震シェルター」とは

住宅の一室に木材や鉄骨などで箱型の空間を作り安全を確保します。
参考本体価格80万円

【補助対象】 防災ベッド、耐震シェルターまたは、居室部分の補強を住宅に導入するもの

※補助対象となる「防災ベッド」「耐震シェルター」等については、大石田町ホームページから右記二次元コードでご確認ください。

補助対象となる「防災ベッド」「耐震シェルター」等の詳細について



■その他の住宅リフォーム支援事業補助金のご案内

「減災対策」のほかに「省エネ化」「バリアフリー化」「克雪化」「県産木材使用」のリフォームを町内事業者へ委託する場合に補助を行います。詳細については、4月25日配付のチラシか大石田町ホームページをご確認ください。「減災対策」とその他の住宅リフォーム支援事業は、併用が可能です。

【子育て・新婚・移住世帯 補助率1/3、最大45万円を補助】
【それ以外の世帯 補助率1/5、最大25万円を補助】

※**子育て世帯** 平成18年4月2日以降に生まれたお子さんがいる世帯
※**新婚世帯** 申請日時点において、婚姻した日から5年以内の世帯
※**移住世帯** 平成31年4月1日以降に山形県外から町内に移住した方がいる世帯等

町の住宅リフォーム支援事業制度の詳細について



地域防災専門員を紹介します



しもやまだ てつや
下山田 哲也 (55歳)

近年、全国各地で頻発する豪雨災害や土砂災害、発生が懸念されている山形盆地断層帯による地震発生への対応など、町の防災力向上のために、令和6年4月1日から地域防災専門員を配置しています。

下山田地域防災専門員は、災害派遣なども経験している退職自衛官であり、長年の勤務で培った防災・危機管理に関する優れた知識・技能を持っています。今後、地域の防災力向上を図るため、防災教室などを開催していきます。

■建設課 管理グループ ☎35-2111 (内線233)

山形盆地断層帯「地震」に備えよう！

●令和6年能登半島地震は、建物等の倒壊による圧死や窒息が多くを占める

能登半島地震では、倒壊した建物の下敷きになったことなどによる「圧死」が最も多く、全体の約4割、窒息・呼吸不全が約2割を占めています。(1月30日現在)

地震発生時の行動、地震後の行動など「地震その時10のポイント」を学び、建物等の倒壊から身の安全を確保しましょう。

地震

その時10のポイント

地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子をみる。
- 【高層階（概ね10階以上）での注意点】
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



大切なことは
まず身を守ること！
あわてず落ち着いて
行動すること！

地震直後の行動

落ちついて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類や、ガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

確かめ合おうわが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否や出火の有無をお互いに確認し合う。



協力し合って消火・救出・応急救護

- 近隣で火災を発見した場合は、街頭消火器などにより、協力し合って消火を行い延焼を防ぐ。
- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



正しい情報 確かな行動

行政、放送局、鉄道会社などから発信される正しい情報を得る。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、復電時の電気機器のショートなど、通電火災が発生する可能性やガス漏れの発生を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めてから避難する。



火災や津波 確かな避難

- 地域で大規模な火災の危険がせまらば、身の危険を感じたら声を掛け合い、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部や川沿いでは、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



災害・防災情報を入手し「地震」に備えよう！

災害発生時・災害が発生する恐れがある時の避難情報や、防災情報をお知らせします。

町では、災害発生時、災害が発生する恐れがある場合、「防災放送」でお知らせします。しかし、地震等で光ケーブルの断線や、停電が発生した場合など放送を行うことができなくなります。そのような状況に対応するため、「情報伝達の多重化」を進めています。皆さんの登録をよろしくお願いいたします。

町公式LINE
クマの目撃情報や火災発生情報などの防災情報やイベント情報など各種行政情報を発信します。

Yahoo!防災速報
地震や豪雨、土砂災害、避難情報、熱中症情報などあらゆる災害情報をお知らせします。

防災放送確認ダイヤル
防災放送の内容を確認したい場合、下記にお電話ください。(直近の放送から8時間以内の内容)
0237-48-8444